

どさん子 世界 から

フランス

高橋 真美

5月末、普段は車の往
来が激しいパリのシャン
ゼリゼ通りが、2日間全
面通行止めになり、「農
場」に变身した。土や木
くずを敷き詰め、トマト、



目抜き通りが「農場」に

イチゴ、麦など50種類以
上の作物を植えた畑と、
牛や羊などの家畜が並ぶ
牧場が現れた。

初日はあまりの混雑に
閉口し、2日目の朝一番
に出直したが、家族連れ
などですぐに身動きがで
きなくなるほどだった。
農産物の即売もあり、2
日間で200万人が訪れ
たという。

フランス農業の将来を
担う35歳以下の農業者の
組合が主催した。農産物
の価格が下がり、農家の
畑と牧場が出現し、いつもと
違う風景になったシャンゼリ
ゼ通り（筆者撮影）

収入は減り、その上、欧
州連合（EU）共通農業
政策の改革で補助金も減
る見通しだ。
フランス農業の未来は
決して明るくはない。今
回のイベントは農業に親
しんでもらうだけでなく、
農家の窮状を伝える
目的もあった。

去年は、シャンゼリゼ
に農家がバリケードを築
き、抗議行動を繰り広げ
た。今回は穏やかなイベ
ントだった。それでも食
と環境を守るため、市民
に直接訴えかける農家の
メッセージは伝わってき
た。

たかはし・まみ 元日
BCディレクター。パリ
在住のフリージャーナリ
スト。夫、息子と3人暮
らし。